

第八小学校の校庭内にあるムクの木のお別れ会が、平成28年7月12日に開催されました。お別れ会は全校児童がムクの木の前に集まり、地域の方々も参加して行われました。地域の方々が、毎年運動会の際にムクの木の下で踊ったことや、ムクの木の下でゴザを敷いて青空のもと授業を受けたことなど、ムクの木にまつわる様々な思い出を全校児童に話されました。最後に全校児童を代表して6年生の2人がムクの木に感謝の言葉を発表し、教職員、児童、地域の方々の皆で別れを惜しみました。お別れ会の後には、地域の方々がムクの木の前で記念写真を撮影するなどの光景も見られました。

今回伐採されることになったムクの木は、第八小学校が現在の地に移った昭和20年から今まで71年間、第八小学校の子どもたちを見守ってきました。しかし、最近では老木になったことから風の強い日に多くの枝葉が落ち、屋外活動をしている児童に枝葉が当たって怪我をしてしまう危険性があるなど、安全面が危惧されていました。そのため、平成28年度に実施する大規模改修工事に合わせて伐採することになったものです。

なお、伐採されたムクの木については、一部を加工するなどして思い出の品として学校に残せるよう検討しています。



全校児童がムクの木の下に集まり、お別れ会が開催されました。



第八小学校が現在の地に移った当時の様子などの話をいただきました。



地域の方々から、ムクの木にまつわる、たくさんの思い出話をさせていただきました。



平成12年に行われた百周年事業の際に校庭内に植えられたムクの木は元気に育っています。これからはこのムクの木が子どもたちを見守っていきます。